

活動報告書 ※Web 報告書から抜粋

1. 活動名：被災者の生活再建のための家屋。屋根等の応急修理活動

2. 活動期間：2019年9月18日～2020年3月31日

3. 活動日数：123日間

4. 延べ活動者数：約700名

5. 活動の対象者：

1. 台風15号以降の災害によって家屋に損壊を得た世帯、特に高齢者世帯等、自立生活再建が難しい世帯

2. 台風15号以降の災害によってコミュニティの共有財産が被害を受けた地域

3. 将来の地域の担い手となりうる個人（人材育成）

6. 活動内容

コミサポひろしまは、鋸南町社会福祉協議会、おもに現地ニーズ調査を実施するADRA Japan、その他現地で活動する団体と協力の上、期間中181件の活動を実施しました。

主な活動は、①台風により屋根等が破損した家屋におけるシルバーシート等を活用した応急修繕、②高齢者世帯等、生活空間が確保されていない世帯に対する室内生活空間の整備、③鋸南町における担い手の育成、となります。

① 台風により屋根等が破損した家屋におけるシルバーシート等を活用した応急修繕

活動当初は、過去の被災地同様、ブルーシート、土嚢袋等を活用した活動を実施していましたが、鋸南町は日常から強風に見舞われることが多く、既存のやり方では「耐久性」「安全性」の面に課題があるとともに、本格的な修理まで時間を有することから、被災住民・地域が安心・安全で生活を送れるよう、活動途中から耐久性のあるシルバーシート、ルーフィング等を活用し、土嚢袋を使用しない活動に変更しました。

それにより、張り直しニーズの減少、強風等による土嚢袋の落下等、2次被害の防止に繋がる結果となりました。

② 高齢者生体等、生活空間が確保されていない世帯に対する室内空間の整備

被災地には、縁側にベッドを置き生活する高齢者世帯、壊れた窓がそのままに生活をする世帯等、災害発生から数カ月が過ぎた段階でも、十分な生活環境が整っていないケースが見られました。

そのため、室内の床や畳の設置、危険物の除去と生活空間の確保等、屋根以外での活動を積極的に実施しました。実施に当たっては、地域で活動する室内でカビ等を除去する団体などと協力するとともに、要支援が必要と思われる世帯については社会福祉協議会、行政へつなぐなど、被災者の長期的生活を視野に活動を実施しました。

③ 鋸南町における担い手の育成

過去の被災地の経験から、支援活動は長期化することが想定されたため、如何に地域の担い手を育成するかを大きな課題として考えていました。活動を続ける中、地域の若者が主体となって活動する世帯へ応援に駆け付けたことが縁となり、その後、活動を共にすることとなりました。活動中は、彼らにノウハウを伝えることをメインに考え、また、社会福祉協議会や関連する団体への紹介等、積極的に実施しました。結果として、

地域の担い手が地域支援の団体「Revive(リバイブ)」を立ち上げ、現在も屋根の応急修繕をはじめ活動を継続しています。

7. 活動成果

■支援対象者 (実人数 200 人) (のべ 400 人)

■活動回数 (181 回)

① 地元の担い手である若者による団体「Revive」の立ち上げ

活動内容③で記載したように、地元の若者の育成と団体の立ち上げに繋がったことが、本活動において最大の成果と考えます。過去の災害においても、例えば、2016年鳥取県中部地震の被災地では、今も当時がきっかけで設立された団体「縁」が継続して活動していますが、鋸南町においても数年単位での地域支援が必要と考えられます。

そのような中、活動当初は地域の担い手の存在がありませんでしたが、活動を通し地域に団体ができ、今も鋸南町で活動を続けていることは、被災者の支援だけでなく、地域にとって今後の復興を進める上で大きな力になると感が増す。

② 被災者の安心・安全の確保

雨漏りする家の中で暮らし続けるご夫婦、家に倒れかかっている瓦礫や木に不安を抱え生活する方、今後の見通しが立たず途方に暮れる被災者の方など、様々な方が今回の災害で日常を奪われた状況でした。

屋根の応急修繕等、特に個人での対処が難しく、専門業者へ依頼しても数カ月まちと言う中、活動を通して応急修繕をすることで、次を考える余裕が出来た被災者の方が多くいました。

被災された方が、次の生活再建へ向けて前向きに考える環境で生活できること、その部分に貢献できたと考えています。

③ 地域の安心・安全の確保

②同様、ご自身が被災した家屋の方は、地域や周辺住民に迷惑をかけないか不安に思われるとともに、地域からは「あのご自宅はなぜ速く直さないのか、危なくないか」など、災害により地域住民の関係も悪化します。また、ニーズはそう言ったご近所からも寄せられることがあります。

それら状況に対応したことで、地域の安心・安全に繋がり、近隣住民が次の関係に繋がる活動ができたと考えます。

8. 寄付者へのメッセージ

この度は、コミサポ広島の活動へご支援・ご協力を頂き大変ありがとうございました。

2019年度は千葉県だけでなく、長野県や東北、佐賀県など多くの地域が災害に見舞われる1年となりました。被災された各地域では、その被災地の次に災害が起こるたびに、自分の地域が忘れ去られるのではないかと、そう言った不安を抱えつつ、生活再建に向け取り組んでいます。

そのような中、今回ご支援を頂いたことで長期間にわたり活動を行うことができ、被災者・地域の皆さんの復興・生活再建に向け、多少なりとも貢献をすることができたと考えております。

また、今回の活動を通し、地域の若者が担い手として立ち上がり、今も活動を続けており、それらも今回のご支援を頂き活動が継続できた結果と考えています。ありがとうございました。

コミサポひろしまは、今後も災害が起こらないことを祈りつつ、今回関わった地域の皆さんの縁を大切に、継続して出来る支援をしていきたいと考えております。これからもよろしくお願い致します。